

令和5年度 第16回「笠間地区 白山市ミライ会議」概要

日 時：令和5年9月26日（火） 19：30～20：30

場 所：笠間公民館

参加団体等：地区振興協議会、町内会長会、壮年会、笠間老健会、体育協会、子ども会指導者会、社会福祉協議会、商工連盟、JA青年部笠間地区長会、公民館運営審議会、笠間地区安全協会、歩恋う会かさま、市町会連合会理事、自衛消防連合隊、区長OB会、北消防団松陽分団、笠間地区防犯協会、公民館長など

発言【1】

- (1) 笠間地区の第2避難施設は、松陽小学校、笠間中学校、笠間防災コミュニティセンター、日輪体育館が指定されている。避難のタイミングで、施設の鍵は開くのか。
- (2) 日輪体育館の鍵は誰が持っているのか。
- (3) 避難所の開設に関して、鍵を誰がどのタイミングで取りに行くのか等、笠間地区だけでなく、市内全地区においても情報を共有しておいた方が安心だと思う。
- (4) 第一避難、第二避難は、何日間を想定して、避難した人に対して、食料や電気の供給、サービスはどういう体制をとるのか。

【市】

- (1) 本市の避難所の開設基準は、震度5強以上の地震が発生した場合に避難所を開設し、震度5弱以下の地震、風水害、大規模火災等の場合は、市災害対策本部の指示により避難所を開設します。どの避難所を開設するかは、災害の発生規模及び範囲等を基に気象状況の動向を注視した上で、対策を要する地区（対象）を市災害対策本部等会議で協議、決定することとしています。
災害時における避難所の鍵の対応については、基本的には、避難所担当の市職員が危機管理課に参集し、合鍵を受け取った後に避難所へ移動し、開錠する流れとなっています。
- (2) 日輪体育館の鍵は、地域振興公社と危機管理課で管理しています。
- (3) 避難所の開設に当たって、避難所の鍵を、誰が、いつ、どのタイミングで、どこに鍵を取りに行くかなどを地域コミュニティ組織の防災部会等へ事前にお伝えしておくことは、市民の皆さんの安心につながるだけでなく、いざまさかの時のためにも必要であると思います。

今後、公民館はコミュニティセンターとなり、地域住民参画型の地域コミュニ

ティ活動の拠点として新たなスタートを切ることになりますが、当組織の防災部会等では、地域防災に係る避難所開設時の対応などについても協議の対象になると思われまので、これらの機会を活用して連携、情報共有等を図ってまいりたいと考えております。

- (4) 一次避難場所は、主に地震などの災害時に安否確認、避難した住民の人数や被害状況を確認するための集合場所で、町内会が指定しています。通常であれば安否確認後、自宅に戻ることとなります。住宅が損壊するなど自宅に住むことができない被災者等が比較的長期間にわたって避難生活をする施設が、市が指定する二次避難施設となります。

一般的に災害発生直後3日程度は行政等からの支援が行き届かない状況が予想されます。そのため、本市では、最低限3日分を想定し、二次避難施設には食料、保存水などを含む備蓄品の提供のほか、簡易トイレや発電機などの資機材を配備して対応に当たることとしています。

発言【2】

令和6年度から、地域コミュニティ組織ができ、公民館はコミュニティセンターに移行する。コミュニティセンターを中核とした地域づくりについて、市長の考えを伺いたい。

【市】

令和6年4月より、公民館はコミュニティセンターとなり、地域コミュニティの活動する場として活用していただきたいと思います。公民館の活動に加え、予算も配分して、更に地域のコミュニティづくりに役立てていただきたいと思っています。何か1つのことをしっかり取り組み、例えば全ての地域に共通する「防災」を中心として、地域がまとまってほしいと思います。コミュニティセンターができることで、地域の課題も見えてくると思います。市も、地域の皆さんと一緒に、その課題を解決していきたいと思っています。

発言【3】

金沢市では、県立図書館のような大きな施設がオープンしたり、県立野球場の建て替えも予定されている。白山市にも例えばイベントホールなどを勧誘してもいいのではないかと。

【市】

松任駅近くに金沢総合車両所松任本所がありますが、JR西日本が撤退を表明

したことにより、その広大な跡地活用について色々なご意見をいただいております。駅に近いという立地条件でありますので、イベントホールのような用途への活用も選択肢の一つであると考えております。

車両所跡地の方向性については、議会での議論や、各種団体、市民の方々の意見等を参考に決定されるものであると市として認識しており、白山市の発展に寄与する形で進展するよう、まずは、土地所有者のＪＲ西日本と今後の土地利用の方針について、協議を重ねていきたいと考えています。

発言【４】

笠間地区はJA松任管内で、米・麦・大豆の生産性でいうと、県内でもトップクラスの生産者が多い。この地域で、農地の確保については、どのように考えているか。

【市】

土地区画整理以外の農地については、きちんと守っていかなくてはならないと考えておりますので、農振法（農業振興地域の整備に関する法律）にかけて簡単には開発できないようにしています。